

はしがき

日本言語学会第155回大会が、2017年11月25日（土）と26日（日）の両日、立命館大学衣笠キャンパスで開催されることになりました。学会ホームページの「過去の大会一覧」を見ますと、意外にも立命館大学での開催は今回が初めてのようです。会場の手配など周到な準備をしてくださった大会実行委員長の有田節子先生はじめ開催校の皆様にご心より御礼を申し上げます。また、内海敦子委員長を中心に発表選考・プログラム作り等の大会準備をしてくださった大会運営委員会の方々と、大会発表賞の選考・審査にあられる発表賞選考部会および審査員の皆様に感謝いたします。

今大会には合計103件（口頭発表89件、ポスター発表9件、ワークショップ5件）もの発表申し込みがあり、合計63件（口頭発表56件、ポスター発表5件、ワークショップ2件）が採択されました。今回も口頭発表は1日目、ポスター発表とワークショップは2日目に予定されています。言語研究の広範囲なテーマと方法論について活発な議論が展開されることを期待しています。

大会2日目の午後は学会賞授賞式続き、公開シンポジウム「Formal Approaches to Subjectivity and Point-of-View（理論言語学が解き明かす主観性と視点）」が開催されます。「主観性」と「視点」をテーマに、アメリカからの講師と日本の講師陣とのコラボレーションとなる企画です。使用言語が英語という点でも、例年になく国際性の強いシンポジウムとなります。

日本言語学会では、昨年度より予稿集の電子版を大会前に学会ホームページで公開していますが、今年度からは紙媒体がなくなり、電子版だけとなりました。春の大会では大きな混乱もなかったようですので、今後もこの形態を続ける方針です。今回も事前にダウンロードあるいは印刷して大会当日に利用していただき、また大会後も自由にアクセスしていただければ幸いです。

今年度は12月に役員選挙が実施されます。今回は、これまでの郵送による投票から、インターネットを利用したオンライン選挙へと投票の方法が変わります。学会ホームページやメルマガ等で投票方法をご確認の上、一人でも多くの会員が投票して下さることを願っています。

最後に、次回第156回大会は2018年6月23日（土）と24日（日）の両日、東京大学本郷キャンパスで開催される予定です。日本言語学会設立80周年記念事業の一環として開催されますので奮ってご参加ください。

2017年11月

日本言語学会長 窪菌 晴夫